幼児だより　8月号

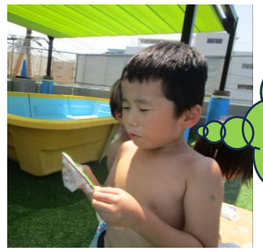
2023/8/1発行

毎日のように、茹だるような暑さで、大人はバテバテです・・・。しかし、子どもたちは、元気いっぱい‼いつでも「外に行きたい」と言いにきます（笑）体力つけて、子どもたちに応えないと！7月は、待ちに待ったプール開きがあり、とっても楽しんでいました。8月も夏ならではの遊びを企画して、おもいっきり遊びたいと思います。くじらさんは、1泊キャンプがあり、それに向けて子どもたち同士で話し合いもします。友だちと意見交換をする経験を積み、もう一回り成長する子どもたちに期待をしています。

やっぱり夏はプールだいっ！

待ちに待ったプールが始まり子どもたちは大はしゃぎです！しかし、全員が得意な分野ではないので、水が苦手な子もいます。顔に水が掛かるのが苦手、水の中に顔をつけれない・・・。そんな気持ちも理解しながら、まずは水と友だちになろう！ということで、ゲームをたくさんしています。

他に・・・氷あそび、シャボン玉、泡



手作りシャボン玉は難しい・・・

かき氷を食べたよ

霧吹き絵

かき氷のできあがり！！

小麦粉粘土

虫のことが好きになってきた

みどり野保育園には虫が大好きなこどもたちがたくさんいます。虫取り網や、虫かご、またはおままごとの容器を持って、外遊びに出ると早速飛び回っているちょうちょを追いかけたり、葉っぱについた幼虫を探したり、ネタはつきません。そんな中、くじら組の Ｈ くんは今まであまり虫に興味はなく、外遊びでは追いかけっこをしたり、身体を動かす遊びが好きでした。でも、あるとき Ｈ くんの走り回っている姿はなく、公園の藤棚付近で虫かごをもって、地面に顔を近づけて何かを探していたのです。何をしているのか見に行くと、一生懸命アリを探し、見つけると手に持っていた葉っぱで素早くすくい上げて虫かごに入れようとしていたのです。小さい葉っぱですくっていたので、中々すぐにはアリをすくい上げて、ゲットできず諦めるかなーと思っていたら「そうだ！」と大きい葉っぱを見つけて戻ってきてアリすくいに夢中のＨくんでした。

保育園で生活したり遊んでいる中で、良いこと、悪いことも含めて友だちからの刺激を受けることはたくさんあります。Ｈくんも0歳児からみどり野保育園で過ごしてきて、虫に興味を持ち始めたのは友だちを見て“楽しそう”と思えたからだと思います。いろんなことに興味を持つということは、探求心の表れで、「なぜ？どうして？」やＨくんが思いついた大きい葉っぱでしてみようというひらめきが“知りたい”という意欲に繋がるのです。これからの園生活でもたくさん興味を持って遊びがが広がっていくるよう、同じ目線で関わっていきたいと思います。

自分でやりきる気持ち♡

5歳児の女の子を中心に、折り紙でおにぎりを作って、それを、お店に並べておにぎり屋さんで遊んでいるKくん。保育士が、「おにぎりくださーい！」とお客になって買いに行くと、「どれがいいですか？」と明るく対応する店員さん役♡

プラスチックパックに注文のおにぎりを入れて、輪ゴムで止めてくれようとしています。しかし・・・

こうやってすればかけれるかな。

いやぁ、こうかな。

いすではなく、地べたに座ってみたらできるかな。

股の間に挟んでしたら、やりやすいかな。

輪ゴムを掛けるまで、約10分程掛かりました。Kくんの10分間には色々なことがありました。①棚の上で掛けれるかな。②少し低いところで掛けれるかな。③床に座っての方がしやすいかな。④友だちが手伝おうと声を掛けてきた～。⑤パックを横や縦に向きを変えればできるかも。意地でも自分で完成させる！という気持ちが強く、頭でいろいろ考えてついに完成させました。すばらしい！！「自分で考えること」が、大きな力になると信じています。小さなことかもしれませんが、小さな積み重ねがこどもたちにはとっても大切で、この先、大きな糧になることと思います。

実はいろいろ…

この日は小麦粉粘土を作って遊ぶ日。
できた粘土を伸ばしたり、こねたり、丸めたり楽しそうに遊んでいます。
リズムよく叩いたり、踏んづけたりとみんながダイナミックに遊ぶ中、黙々と作り続けるＳくんの姿がありました。

Ｓくん

お！何か形になっていますね！面白いです。
しかし遊びの手が止まっている Ｓ くん。どうやら小麦粉粘土が足りなくなってしまったみたいです。

近くのお友だちが小麦粉粘土を分けてくれました！
少し変化しましたね。でも納得いかなかったのか付け足したパーツを取って再びコネコネ…。次はどうなるんでしょう？

真剣な表情。夢中になって遊んでいますね。
小麦粉粘土を細かくちぎり、様々なパーツを作っています。

そして完成したのがこちら！
キャラクター？雪だるま？Ｓ くんに聞きますが答えは返ってこず…。
というのも、Ｓ くんが主に使う言葉は中国語。日本語での質問は分かりにくかったようです。答えは分かりませんでしたが、Ｓ くんの中ではしっかりとしたイメージがあったから、ここまで細かい造形が出来たのではないかと思います。
「じょうずだね」と声をかけるとにこっと微笑むＳくん。
言葉の壁を感じてか、普段は多くを語らないＳくんですが、私たちが思っているよりもいろんなことを考えて遊びを楽しんでいるんだと気づかされました。

えっ…それで…？！

シャボン玉遊びの日。
みんなの目の前でシャボン玉液を作って遊びへの期待を高めます。そして保育士から「穴の開いたものならシャボン玉が作れるよ、お部屋の中から探してきてね」という言葉を受けて子ども達はいろいろ探しにいくのでした。

少しするとみんな穴の開いたものを手に戻ってきました。リグノ積み木、カゴ、ワミーなどなど…どれも穴が空いてるのでシャボン玉液につけたらシャボン玉が出来そうなおもちゃです。そんな中、Ｓくんの持ってきたものは一味違いました。

お顔が隠れちゃってます…汗

やかんです

いやいやそれでどうすんねん…と言いたくなるのをぐっと我慢してＳくんの考えをとりあえず聞きます。Ｓくんいわく､「やかんの上にシャボン玉液をつけて注ぎ口から吹けば出来るはず」ということなのでやってみよー！

ここに
シャボン玉液
を付ける

この結果には思わず大人も子どもも大興奮。
いや～できるものなんですね…正直無理じゃないかと思っていました。失敗したらそれはそれで経験になるかなーと思っていましたができるとは…。やってみるって大事ですね。
大人になるとやる前に諦めることが多くなるのですが、子ども達は様々なことに可能性を感じて挑戦したいと思うのです。
その気持ちを大人の判断だけで「やめとき」「どうせ無理やって」と否定するのではなく「やってみたらいいよ」と受け止めてもらえる事が子どもの成長に大きく繋がっていくと私たちは考えています。ぜひ、いろんなことをやらせてあげてください！